

5 文や文章の中で読ませる指導について (1年)

<p>おいしいおいしい水でした。 (男)</p>	<p>きれいな貝をひろいました。 (美)</p>	<p>花村さんがいった。 (介)</p>	<p>中は、とてもひろいのです。 (子)</p>	<p>【板書事項】 かん字を見つげよう。</p>
<p>【指導の流れ】</p> <p>1 「これまで、たくさんの漢字を習いましたね。今日は、学校の図書室の本の中から、漢字の出てくる文を見つけて、ノートに書いていきましょう。習っていない漢字でも、読み方を知っている漢字は、使ってもいいですよ。」</p> <p>2 「さあ、では、好きな本を持ってきましょう。漢字探しゲームを始めます。時間は二十分間です。」</p> <p>3 「時間になりました。それでは、見つけた文の中から、好きなもの一つ選びます。選んだ文を書き方ペンを使って、大きくカードに書きましょう。」</p> <p>4 「みんな、書き終わったようですね。それでは、グループごとに前に出て、発表してもらいましょう。どの本から見つけたかも、お話ししましょうね。」</p> <p>5 「今日は、漢字を使った文をたくさん見つけて、みんなで読むことができましたね。」</p>				
<p>【留意点】</p> <p>1 どの本から見つけたかを紹介しながら発表すると、図書室の本に親しむ活動ともなり、読書意欲の高まりにつながる。</p> <p>2 本の扱いは、丁寧にすることを確認する。</p> <p>3 短冊に切った画用紙に見つけた文を書かせ、全員が書き終わったらグループごとに発表させることを確認する。</p> <p>4 発表の仕方の話型を指示してから、発表会を始めるようにする。学級の児童数を考え、一年生が集中して活動できるような発表の仕方を工夫するとよい。 漢字が一つ入っていたら一点、二つ入っていたら二点…というように、ゲーム形式にすることもできる。 全員のノートは、必ず確認し、児童の漢字の習得や興味・関心の様子を把握する。花丸を付けるなどして、「漢字を使った文を本の中から見つけたこと」をほめ、児童の学習意欲を高める。 短冊カードは、教室に掲示する。</p>				